

令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画

事業名		内容	令和元年度事業実績	令和2年度事業計画
子育て世代包括支援センター 「あいさいっ子相談室」		① 妊娠期から子育て期（子どもが概ね18歳まで）の方、若者の相談を受け、アセスメントし、切れ目ない支援を行う。 ② 母子健康手帳交付時、母子コーディネーターが面接し、子育て応援プランを作成し、支援する。 ③ 母子保健事業（各種健診及び相談等）において、母子コーディネーターが親子を見守り、子育て支援を行う。	● 妊娠届出数 295件 内、応援プラン作成294件 支援プラン15件 ● 相談件数（基本型） 実66件、延203件	母子健康手帳交付時面接 面接及び電話にて随時 母子保健事業（各種健診及び相談等）で面接
施設巡回事業		母子コーディネーターが子育て支援機関に巡回し、身近な地域で相談を受ける。	子育て支援センター及び児童館 各施設年1回 相談件数 13件	子育て支援センター及び児童館 各施設 年2回
子育て世代包括支援センター 運営協議会		妊娠期からの子育て支援システムの構築に関する事、子育ての現状と課題に関する事、関係機関の連携に関する事を協議する。 子育て世代包括支援センターの活動を評価する。	2回（8月、1月） 第1回「子育ての現状について～親支援を考える～」 第2回「次世代を担う子どもたちにできる支援 ～地域でできる取り組みを考える～」	2回（8月、2月）
子育て支援連絡会		地域の子育て支援関係機関が連携し、横のつながりを作ることにより、地域の子育て環境の整備の一助とする。	全体会1回、部会4回 テーマ：「つなぐ～親支援を考える～」 事例検討、運営協議会を受けて各機関ができることを検討	全体会1回 部会4回 テーマ：「コミュニケーションスキルを 育てるために」
子育て支援研修会		子育て支援関係機関を対象に、子育て中の保護者、家族の支援のスキルの向上を図る。	1回 講演：「再考・私の保護者支援—基本はやはり温かいまなざし」 講師：中部大学 大河内教授 参加者：子育て支援関係機関及び子育てお助け隊 45名	1回
子育て お助け 隊	活動	子育て支援のボランティアを育成し、子育てにおける地域力をつけていく。 （地域における子育て支援体制の構築を図る）	登 録 者 ： 10名 活動内容：子ども食堂7回 Aisai・ママ・マルシェ（託児）	養成講座1回 活動内容：子ども食堂9回 Aisai・ママ・マルシェ（託児）
	フォローアップ 研修	子どもや子育ての最新情報の提供及び、子育てボランティアの質の維持向上を図る。	1回（子育て支援研修会）5名参加	1回
	連絡会	活動報告、情報交換、意見交換等を行う。	3回	3回
Aisai・ママ・マルシェ		地域にある子育て関連のボランティア、グループ等の掘り起し、育成をしていく。孤立している子育て中の保護者が地域につながる機会とする。	1回（市民祭「あいさいさん祭り」のすくすくゾーン） 出店者 50店、参加者数 約6,000名	1回 （市民祭「あいさいさん祭り」にて開催）
主任児童委員との情報交換会		主任児童委員と連携し、身近な地域での子育て支援体制等について検討する。	1回	1回以上
母子ケース検討会		母子健康手帳交付者及びこんにちは赤ちゃん訪問から支援が必要となった事例について検討する。	12回（月1回）	12回（月1回）
母子保健事業担当者会議		母子保健事業との連携調整を行う。	1回	随時
養育支援訪問員ケース検討会議		事例の把握に努め、関係機関と情報共有し連携調整を行う。	2回	2回
母子保健推進員定例会		母子保健推進員と活動状況を共有し、活動の評価や課題の抽出を行う。	随時	12回（月1回）
虐待等防止ネットワーク協議会・ 実務者会議		事例の把握に努め、関係機関と情報共有し連携調整を行う。	7回 サポートチーム会議1回	12回
児童福祉課内ケース連絡会 （子育て支援課内ケース検討会）		家庭児童相談室と連携のため、事例の情報を共有し、また相談体制について検討する。	5回	月1回
母子コーディネーター連絡会		あいさいっ子相談室の活動内容、事例検討等を行い、課題の抽出、活動の評価を行う。	15回	12回（月1回）
その他		民生児童委員、小中学校等各団体等の定例会に出席し、あいさいっ子相談室の周知をし、連携を図る。	民生児童委員定例会1回	随時